

得する街のゼミナール

2月1日(火)～3月15日(火)に、お店の人がプロならではのコツや専門知識を教えてくださいの講座「得する街のゼミナール(まちゼミ)」を開催しています。



松永松盛園で「季節を演出する寄せ植え」が行われました。講師から丁寧な説明を受けながら、参加者はたくさんある花の中から自分で決めたテーマを基に好きな花を選び、楽しみながら寄せ植えをしました。



東松山ハリカで行われた「私だけの“おひな様”をつくらう」では、桃の節句に合わせて“おひな様”を作りました。細かい材料をいくつも重ね合わせてのおひな様作りは、大変でしたが、充実した一時を過ごしました。



まちかぞえ スケッチ

この広報紙にあなたが写っていましたら広報広聴課へご連絡ください。写真をさしあげます。

令和4年節分祭



2月3日(木)、箭弓稲荷神社で恒例の厄除開運の祈願と豆まき式が行われました。感染防止対策として参加者の豆拾いは中止となり、囲みの中の鬼を目がけて「鬼は～外、福は～内」の声と共に豆をまきました。

また、松山女子高等学校美術部が制作した絵馬が飾られていました。



体育館でのびのび元気に!



2月3日(木)に北地区体育館で、親子で遊ぼう会を行いました。参加したお子さんは1・2歳で、体育館に入るなり走り出すほど元気いっぱい。音楽に合わせたダンスや手遊び歌、トランポリン等を使った運動遊び、パネルシアターなど盛りだくさんの内容で、子どもたちは自分のペースで楽しんでいました。運動遊びでは、階段を上手に上れた女の子に、それを見ていた親子が笑顔で拍手を送る、ほほえましい場面もありました。



のびのびハッピー

ボランティア



今城恒幸さん

長年にわたり、わかまつ保育園の環境美化・環境保全に貢献されている今城恒幸さんにお話を伺いました。

今城さんはボランティアで保育園の樹木の伐採・せん定、花壇の手入れ、門扉の修理などを5年以上行っています。その功績が認められ、令和

3年度秋季善行表彰で表彰されました。これは一般社団法人日本善行会がボランティアによって行われるさまざまな善行活動を称えた表彰です。表彰状は昨年12月、園児が代理で渡しました。

忙しい保育士さんの役に少しでも立ちたいという気持ちからボランティアをしています。子どもたちの元気な声が聞こえるとうれし、それが元気の源だそうです。子どもたちの姿が見えると笑顔で手を振っている姿がありました。

今城さん、ご自身の健康に留意しながら、これからも保育園の環境を守って行ってくださいね。



花壇の手入れをしている様子



表彰状を受け取る今城さん夫婦

人口と世帯(2月1日現在)		交通事故発生件数(1月中)		市内の空間放射線量測定結果	
人口: 90,369人	(- 16)	発生件数: 345件※		市内34か所で空間放射線量を定期的に測定しています。	
男: 45,455人	(+ 7)	人身事故: 18件(死者: 0人、けが人: 21人)		2月の測定においても、基準値を下回っています。	
女: 44,914人	(- 23)	物損事故: 327件		測定結果の詳細については、市HPに掲載しています。	
出生(1月中): 49人	(± 0)	※東松山警察署管内(東松山市・滑川町・川島町・吉見町)の件数			
死亡(1月中): 99人	(+ 17)	火災と救急件数(1月中)			
転入等(1月中): 293人	(- 83)	火災件数: 3件			
転出等(1月中): 259人	(- 6)	救急件数: 387件(交通: 24, 急病: 243, その他: 120)			
世帯数: 41,586世帯	(+ 31)	搬送人員: 315人			
*()は前月比					

埼玉県子ども動物自然公園

～園長おすすめ ヤギ～

田中理恵子園長

チビヤギの練習台

1万年ほど前、人間は野生のヤギを飼いならし、長い年月の中で多くの品種を生み出しました。野生のヤギは岩場に暮らしているため、急な崖の昇り降りは朝飯前。2本の指先をグッと開き、後ろ側の副蹄がうまくひっかかるので落ちません。なかよしコーナーで暮らす家畜のヤギももちろん。高いところが大好きなので、ジャングルジムのようにブロックを積み上げたり、板や丸太で橋を組んだりするのが、ヤギの担当飼育係の大事な仕事です。

うまれて数日の赤ちゃんヤギも、ちょっと高い所に挑戦を始めます。身近な高い所、それは、口をモグモグしながら座っているお母さんヤギの背中。最初は滑ってコケることもありますが、すぐに上手になってびよびよん乗ったり降りたりできるようになります。そのたびにお母さんのお腹や背中には細い足先にぐいぐい押されて痛そうですが、お母さんは全然動じません。ある日、ほどけた靴紐を直そうとしゃがんだら、背中にチビヤギが乗ってきました。「お、私で練習ですか?」とニヤニヤしながらしばらく乗せていましたが、蹄が食い込んで結構痛い。その後「どうしたんですか?背中」とスタッフから言われ鏡で見ると、えらく泥だらけ。

痛いと泥なんかへでもないお母さんヤギは、やっぱり偉大ですね。

2本の指の後ろには2つの副蹄

お母さんの背中にのるチビヤギ

私の背中に乗るチビヤギ